

国内で世界市場と戦う

日本密着型の企業と共存する企業を目指す

エイト工業

うめナビ vol.5-1

エイト工業（横浜市港北区綱島東、関本利治会長 関本利一社長、045・542・0111）は、来

年創業50周年を迎える産業用プリント基板の開発・製造・販売を営む会社である。同社に加え、プリント基板用端子の開発・製造・販売を営むマックエイトと外形加工のスリーエイトの3社で、エイトグループというグループ会社を構成している。エイト工業は、プリント基板が電気製品の中に本格的に使われ始めた1960年代中頃よりプリント基板の製造を開始した。電子産業界の発展、特に電子機器で使われる部品とその実装方法の進化とともに、技術開発のレベルアップを常に先駆けて進めており、業界にあってもその存在は、フロントティア精神に溢れた企業として高く評価されている。

同社は、現在22種類のプリント基板を取扱い、主に防衛・宇宙・官公庁等の関連電子機器、通信機器、計測器、医療機器を製造する顧客からのニーズに込んでいる。

（2005年宇宙航空研究開発機構JAXA規格認定取得、2007年防衛省規格認定取得）

グループ会社のマックエイトは、オリジナル製品6000種以上のライン



関本会長とJAXA規格認定証

ナップを誇り、国内外（国内シェア約70%）の顧客に愛用されている。最近では、エイトグループが協力して、モジュールの回路設計、プリント基板設計・製造、部品実装、電気検査までを一括受注している。

エイトグループの今年のスローガンは「強い気力で改善・改革発想転換して価値創造 品質は我社の命」。昨今、益々厳しくなる経営環境下、社員が一丸となって改善、改革を目指し、お客様の信頼を得ることをモットーに製品づくりに取り組んでいる。「国内で世界



エイトグループの産業用プリント基板の数々

市場と戦う。日本密着型の企業」と共存できる企業を目指す」と関本会長は語る。高度な技術と最新の設備を駆使して、時代のニーズにあった高品位・高信頼性のエレクトロニクスサーキットを世に送り出す、エイトグループに今後とも目が離せない。